記者発表資料

平成２６年２月　６日
津軽ダム工事事務所

「津軽白神湖 湿地ビオトープワークショップ」を開催
～湿地ビオトープでの今後の活動について考えます！～

津軽ダム工事事務所では、環境保全の取り組みとして湿地ビオトープを整備することとしております。
どのような湿地を整備していくのか、また、利活用や維持管理についてのプランづくりを行い、湿地環境を育てていく活動を目的に「津軽白神湖　湿地ビオトープワークショップ」 を平成２５年３月１日に設立しました。
第５回目となる今回のワークショップでは、これまでのワークショップの活動をふりかえり、湿地ビオトープの利用や活動のイメージを共有し、平成２６年度の具体的な活動目標とイベント企画について考える予定です。

【開催概要】

■名　　称：第５回　津軽白神湖　湿地ビオトープワークショップ

■開催日時：平成２６年２月７日（金）１３：３０～１６：００

■場　　所：津軽ダム工事事務所　会議室

■内　　容：平成２６年度の活動目標とイベント企画について

【参　考】

■ワークショップの参加者（平成２６年２月１日現在）
西目屋村商工会、岩木山自然学校職員及び研修生、安藤ハザマ・西松共同企業体、白神山地財団、弘前大学　学生、個人

■第４回ワークショップ(平成２５年１１月７日開催)概要
①試行的に造った池に植物の移植を実施
②年間を通した活動やイベントについての意見交換を実施

〈発表記者会：弘前市記者会、専門記者会〉

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　津軽ダム工事事務所
電話　0172-85-3005　FAX 0172-85-3016

調査設計課長　吉田（よしだ）　久（ひさし）　(内線351)
専門職　田嶋（たしま）　正樹（まさき）(内線350)

○これまでの津軽白神湖　湿地ビオトープワークショップのようす

Before



改良前の試行湿地（H２５年６月）

試行的につくった湿地の改良のアイデアを出し合い　植物が生息しやすい湿地に改良しました。

After



改良後の試行湿地（H２５年９月）

湿地に移植する植物を津軽白神湖の周辺から選んで移植をしました。



移植候補植物の調査をした第３回ワークショップ（平成２５年９月２６日）



移植活動をする参加者　第４回ワークショップ（平成２５年１１月７日）



移植活動の参加者たち